

S-Stage ボアアップキット 138cc 取扱説明書

製品番号	01-05-4484 (カム無)
	01-05-4485 (カム付)

適応車種及び フレーム番号	XTZ125 (JYM125-9)
	YB125SP (JYM125-3F)
	YX125DX (JYM125-3G)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

使用燃料についてのご注意

当製品はノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず CR8HSA (NGK) 又は、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。その後、個々に合った番数を決定して下さい。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付けると原付 2 種の排気量を超えるため一般公道の走行は出来ません。一般公道を走行すると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品に付属のカムシャフトは片側のみにはベアリングが取り付けられ、シリンダーヘッド奥（クラッチ側）に取り付けられたベアリングに差込む事で使用します。カムシャフト両端にベアリングが取り付けられているカムシャフトの仕様のエンジンには取り付けが出来ません。

◎弊社では上記の並行輸入車両にて確認を行い、適応車両としていますが、エンジン仕様に関しては適応車両であっても全て把握しきれておらず、当製品が取り付け出来ない恐れがあります。取り付け前に必ずエンジン仕様をご確認下さい。

◎当製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行って下さい。

◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技術や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご相談される事をお勧め致します。

◎エンジン仕様により別途必要部品が異なります。この取り扱い説明書や純正サービスマニュアルの内容を事前に熟読の上、ご用意下さい。

◎クランクシャフトエンドアクセシングスクリューが備わっていない車両は左クランクケースカバーを取り外しての作業をお勧めしますが、この作業の際には左クランクケースカバーガスケット（純正品番：5VL-E5451-10 もしくは 5HP-15451-00）が別途必要となります。

◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷の激しい物は再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。

～特徴～

○ノーマルヘッドを使用した適応車種専用のボアアップキットです。ボア径を 54mm から 57mm に拡大する事で排気量が 137.8cc にアップし、圧縮比を 11.6:1 に高圧縮比化する事で力強いトルクを感じることが出来ます。また、付属のスポーツカムシャフト（01-05-4485 のみ）により高回転・高出力型の特性になります。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。

（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。

（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

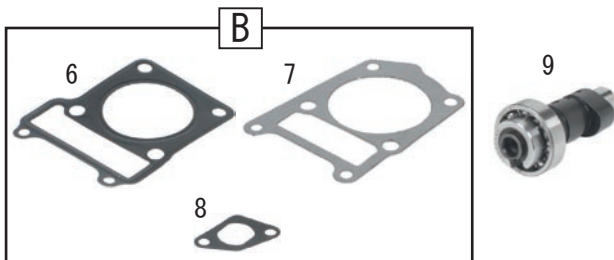
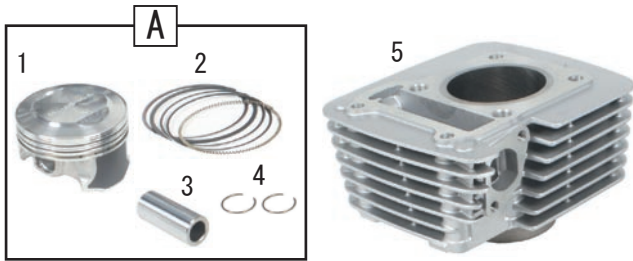
◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ピストン 57mm	1	13109-5VL-T00
2	ピストンリング SET (57mm)	1	01-15-017
3	ピストンピン 15x36	1	00-01-0204
4	ピストンピンサークリップ 15x1	2	00-01-0201 (6ヶ入り)
5	シリンダー 57mm	1	12101-5VL-T00
6	シリンダーヘッドガスケット	1	00-01-0205
7	シリンダーガスケット	1	00-01-0206
8	テンショナーケースガスケット	1	00-01-0068
9	カムシャフト	1	01-08-0175

記号	部品名	リペア品番
A	ピストンキット	01-02-0173
B	ガスケットセット	01-13-0125

※01-05-4484には、カムシャフトは付属しておりません。

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

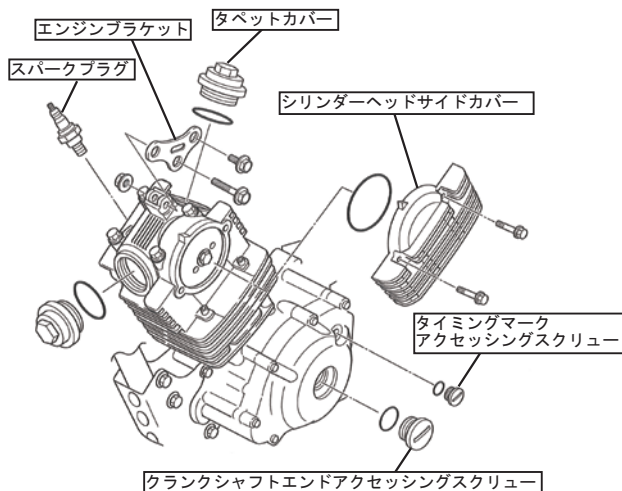
※水平で安全な場所で、**車両を必ずメンテナンススタンド等を用いて水平に安定させてから、作業を行って下さい。**

●外装類等の取り外し

◇純正サービスマニュアルを参照し、シート、フューエルタンク、キャブレター、インシュレーター、エキゾーストパイプを取り外す。

●カムプロケットの取り外し

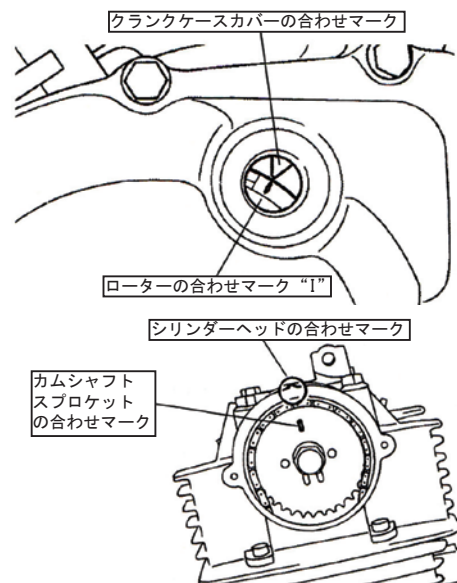
◇エンジンブラケット、シリンダーヘッドサイドカバー、タペットカバー、スパークプラグ、クランクシャフトエンドアクセスングスクリュー(ある場合)、タイミングマークアクセスングスクリューを取り外す。



◇クランクシャフトを反時計方向に回し、ローターの合わせマーク“1”とクランクケースカバーの合わせマークを一致させ、圧縮上死点の位置にする。

※クランクシャフトエンドアクセスングスクリューが備わっていない車両は、キックスターターを操作する、またはリアタイヤを回してクランクシャフトを回す。

この時、カムプロケットの合わせマークがシリンダーヘッドの合わせマークに揃っている事を確認する。



◇クランクシャフトを固定して、カムプロケットボルトを緩める。

※クランクシャフトアクセスングスクリューが備わっていない車両は、左クランクケースカバーを取り外して、フライホイールを固定する。ただし、この製品には左クランクケースカバーガスケットは付属していないため別途用意する事。

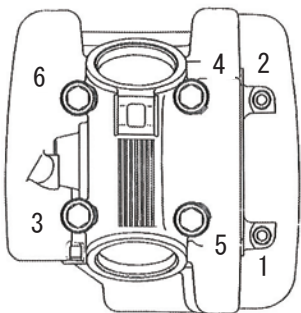
◇カムチェーンテンショナーのキャップボルトを取り外し、スプリングとOリングを取り外す。ボルト/ワッシャ2本を取り外し、カムチェーンテンショナーをシリンダーから取り外す。



◇カムプロケットボルトを取り外し、カムチェーンからカムプロケットを取り外す。この時、カムチェーンがクランクケース内に脱落しないように、針金等で結んでおく。

●シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

◇シリンダーヘッド締め付けボルト6本を番号順に数回に分けて緩め、取り外す。



◇カムチェーンがクランクケース内に脱落しないように注意しながらシリンダーヘッドを取り外し、ロックピン2個とカムチェーンガイドを取り外す。

◇カムチェーンがクランクケース内に脱落しないように注意しながらシリンダーを取り外し、ロックピン2個、シリンダーガスケットを取り外す。

※クランクケース内に部品が入り込まないようにクランクケース開口部をウエス等でふさいでおく。

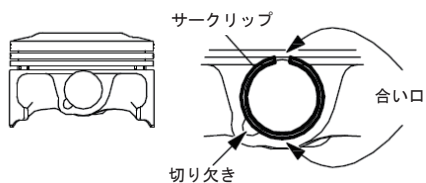
◇ピストンピンサークリップの片側を外してピストンピンを外し、ピストンを取り外す。

◇クランクケースにガスケットがこびりついている場合はきれいに取り除く。

●ピストンの取り付け

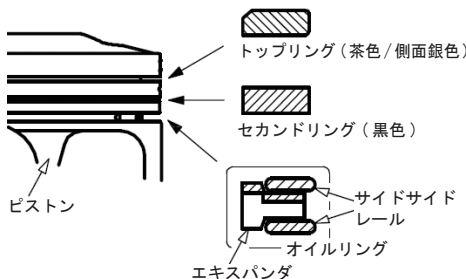
◇ピストンのピン穴の片方にピストンピンサークリップを取り付ける。

※ピストンピンサークリップの合い口はピストンピン穴の切り欠き部を避け、上か下になるように取り付けます。



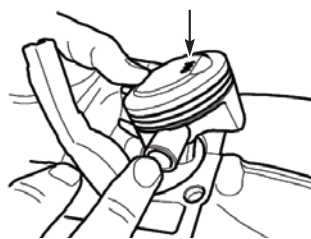
◇ピストンにピストンリングを取り付ける。オイルリングはエキスパンダを先に取り付け、後にサイドレールを取り付ける。トップリングとセカンドリングは形状、色に違いがあるので間違わないように取り付けます。トップリング、セカンドリング共に文字面を上面向けて取り付けます。

※ピストンを傷つけないよう、ピストンリングを破損しないように注意する事。

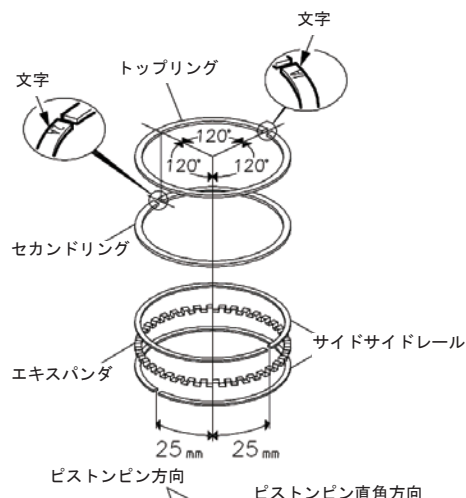


◇付属のピストン、ピストンのピン穴、コネクティングロッドの小端部にエンジンオイルを塗布する。ピストン頭部の“IN”マークをインテーク方向に向けてコネクティングロッドに取り付け、付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付けます。



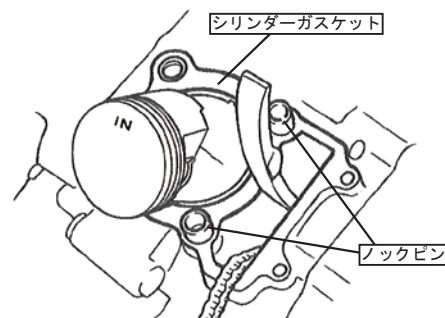
◇ピストンリングにエンジンオイルを塗布し、各リングが滑らかに回転する事を確認する。ピストンリングの合い口はピストンピン方向とその直角方向を避け、120度間隔にする(下図参照)。



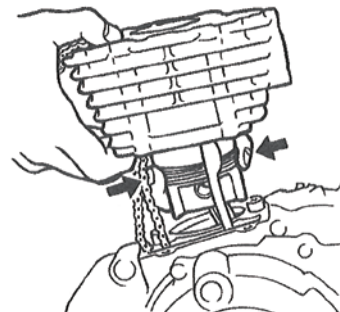
●シリンダーの取り付け

◇クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃し、クランクケース開口部につめていたウエスを取り外しておく。

◇クランクケースにロックピン2個と付属のシリンダーガスケットを取り付ける。



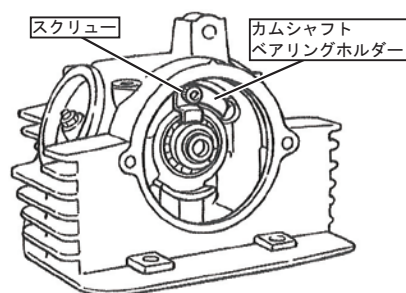
◇シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。



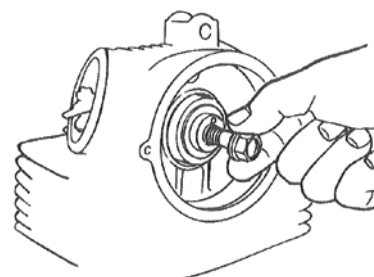
●カムシャフトの取り外し

◇ロッカーアームのアジャスティングスクリューを緩めておく。

◇スクリーを1本取り外し、カムシャフトベアリングホルダーを取り外す。

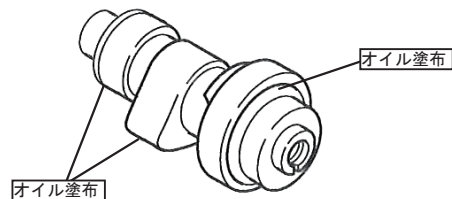


◇カムプロケットボルトを利用して、カムシャフトを取り外す。



●カムシャフトの取り付け

◇キットのカムシャフトのベアリングとカム面にエンジンオイルを塗り、シリンダーヘッドに取り付ける。

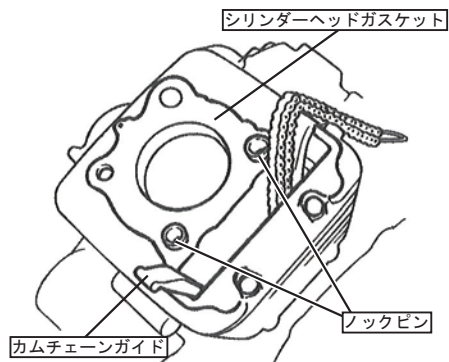


◇カムシャフトベアリングホルダーを取り付け、スクリューを締め付ける。

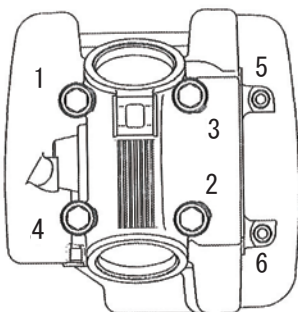
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

●シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの合わせ面を清掃する。カムチェーンガイド、ノックピン2個、付属のシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付ける。



◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。
◇シリンダーヘッド締め付けボルト6本を番号順に数回に分けて締め付け、取り付ける。



●カムスプロケットの取り付け

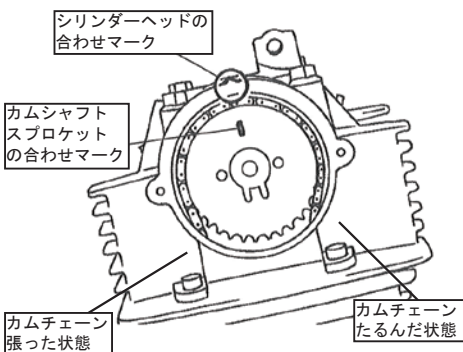
◇カムシャフトを圧縮上死点の位置にし、カムスプロケットの合わせマークがシリンダーヘッドの合わせマークに合うように、カムスプロケットにカムチェーンを掛け、カムシャフトに差し込む。

この時、エキゾースト側のチェーンが張るように組み付ける。

※クランクシャフトが圧縮上死点になっている事を必ず確認し、カムチェーンを掛ける事。

※左クランクケースカバーを取り外しての作業を行っている場合に、タイミングを確認する際は、一旦左クランクケースカバーを仮組み付けする。

※カムチェーンがクランクシャフト側で外れたりしてカムスプロケットの取り付けが出来なくなった場合は、純正サービスマニュアルに従い、作業を行う。



◇ワッシャとカムスプロケットボルトを仮組み付ける。

◇カムチェーンテンショナーのワンウェイの爪を起し、テンショナーロッドを押し込んでおく。



◇付属のガスケットとカムチェーンテンショナーをボルト/ワッシャ2本でシリンダーに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
テンショナー取り付けボルト
トルク：9N・m (0.9kgf・m)

◇カムチェーンテンショナーにOリング、スプリング、キャップボルトを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
キャップボルト
トルク：8N・m (0.8kgf・m)

◇クランクシャフトを反時計方向に回し、ローターの合わせマーク“1”とクランクケースカバーの合わせマークを一致させ、圧縮上死点にした時、カムスプロケットの合わせマークとシリンダーヘッドの合わせマークが一致しているか確認する。一致していない場合は、カムスプロケットの再組み付けを行う。

◇クランクシャフトを固定して、カムスプロケットボルトを締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
カムスプロケットボルト
トルク：20N・m (2.0kgf・m)

※左クランクケースカバーを取り外して作業を行った際は、新品の左クランクケースカバーガスケットと共に取り付け、カバー取り付けボルトを対角に数回に分けて締め付ける。

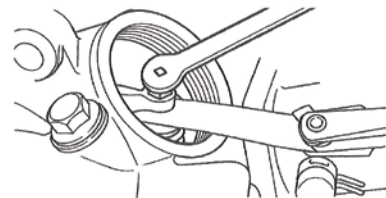
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
カバー取り付けボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

●バルブクリアランスの調整

◇クランクシャフトを反時計方向に回し、カムスプロケットの合わせマークとシリンダーヘッドの合わせマークを一致させ、圧縮上死点にする。

◇シックネスゲージをアジャスティングスクリューとバルブステムの間に差し込み、バルブクリアランスの調整を行う。

◎標準バルブクリアランス (冷間時)
インテークバルブ 0.08 ~ 0.12mm
エキゾーストバルブ 0.10 ~ 0.14mm



◇アジャスティングスクリューを保持し、ロックナットを締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：8N・m (0.8kgf・m)

◇クランクシャフトエンドアクセッシングスクリュー (ある場合)、タイミングマークアクセッシングスクリュー、タペットカバー、シリンダーヘッドサイドカバー、スパークプラグ、エンジンブラケットを取り付ける。(Oリングには、オイルまたはグリースを塗布してから締め付ける。)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー (両方共)
トルク：7N・m (0.7kgf・m)
タペットカバー
トルク：18N・m (1.8kgf・m)
シリンダーヘッドサイドカバーボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
スパークプラグ
トルク：13N・m (1.3kgf・m)
エンジンブラケット
トルク：40N・m (4.0kgf・m)

●外装類等の取り付け

◇純正サービスマニュアルを参照し、エキゾーストパイプ、キャブレター、インシュレーター、フューエルタンク、シートを取り付ける。